

平成20年度
受賞

私立保育園マミー

～ 子どもたちへ「身に付く体験」を教えたい ～

【受賞者の概要】

私立保育園マミー

- ・所在地: 佐世保市天神町1193-4
- ・創立時期: 昭和60年
- ・会員数: 保育園児66名、学童クラブ52名 計118名



【受賞時の活動・現在の活動】

豊かな自然の中で心身ともに明るく健康な子どもを育てることを保育目標の1つに掲げ、平成15年度より、「畑あそび」を始めました。その後、生ごみリサイクル元気野菜作りを主体に、食育講習、食育体験を保育に取り入れた活動を実践しました。子どもたちのために「身に付く体験」を行っていますが、一度きりの体験では、身に付くことはないため、楽しく遊びながら繰り返し行い、また、振り返りをしながら次のやる気につながるような継続したプログラムで行っています。みんなで元気野菜を育てて、出来栄を喜び合い、家族でも味わい、食の大切さを知り、健康へつながる展開を行っています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

生ごみリサイクル元気野菜作りも大きく広がり、園児、学童の健康において大いに役立ち、園児から家庭へ、地域から県外へとつながり、食育活動から木育活動などの環境教育へと発展し、日々進行しています。

食育活動は健康な家族を守る原点でもあり、豊かな自然の中で心身ともに明るく健康な子どもを育てる保育目標の一つへ結びつけることができます。

【今後の展望(これからの夢)】

保育園児、学童クラブの児童たちがこの活動体験をよりよく継続できる保育と環境を整え、親子の絆、地域の絆へと発展させ、心身ともに豊かな生活へとつながられるような機会をこれからも増やす計画です。



しんでん
新田保育園

～ 食べ物を大切に考える心を育てほしい ～

【受賞者の概要】

新田保育園

- ・所在地: 佐世保市新田町487-3
- ・創立時期: 昭和49年
- ・児童数: 129名



【受賞時の活動・現在の活動】

生ごみリサイクル元気野菜作りを中心とした体験学習を通して食育活動を行っています。

自分達で育てた野菜を食べて、食べ物を大切に考える心を育てるなど、食育の原点となる取組を実践しています。心身共に健やかに成長することを願い、楽しく美味しく食べることを大切にし、保育活動の中に四季折々の行事や行事食クッキング保育を取り入れています。献立作成の際には、季節感や地域性を考慮し、旬の食材、食品添加物が入っていない調味料、発達に合った調理方法を考慮しています。また、離乳食の食物アレルギー対応食は、家庭と連携をとりながら進めています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

食育の取り組みから、子ども達の心にもやさしさが育っており、食育は心の成長に大きな役割を持つことを、保育士が実感しています。また、日々の生活の中で「あ～おいしかった。」「嫌いなものが食べられるようになった。」「お友達や先生と一緒に食べて楽しかった。」「クッキング保育はおもしろかった。」など、子ども達の成長している声を聞くことができ、ゆっくりと自立している姿を見ることができました。

【今後の展望(これからの夢)】

子ども一人ひとりの健康状態、発育、発達状態、栄養状態、食生活の状況を見ながら、子どもにとって何が大切か、また、必要かを全職員で考え“家庭”と連携をとりながら食育を進めていきたいと思えます。

平成22年度
受賞

さいかい
JAながさき西海させぼ地区青年部

～ 農業活動体験を通した日本の食文化の伝承 ～

【受賞者の概要】

JAながさき西海させぼ地区青年部

- ・所在地: 佐世保市広田2-3-12
- ・創立時期: 平成13年
- ・会員数: 95名



【受賞時の活動・現在の活動】

次世代を担う児童に対し、「食べ物を選ぶ力、味がわかる力、料理ができる力、食べ物の命を感じる力」を養うと共に、農業に対する理解を深めてもらうため、教育関係者、保護者、関係団体を巻き込んだ農業体験、加工・調理体験学習を通した食育活動を実施。また、米海軍佐世保地区エレメンタリースクール児童に対し、農業体験学習を通して、日本の食文化をPRする取組が、平成22年度食育活動推進表彰を受賞しました。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

JA・農協青年部一体となって、人と人とのつながりを大事にして「食」と「農」の大切さを次世代へつないでいきたい。

地域交流の場も広がりつつあり食育を通して地域の活性化にも貢献しています。

【今後の展望(これからの夢)】

一番は食農教育活動を「持続」させること。引き続き各小学校へ出向いて交流を深めることが大切。課外授業等時間割り当てが減少する中、積極的に活動していきたいです。